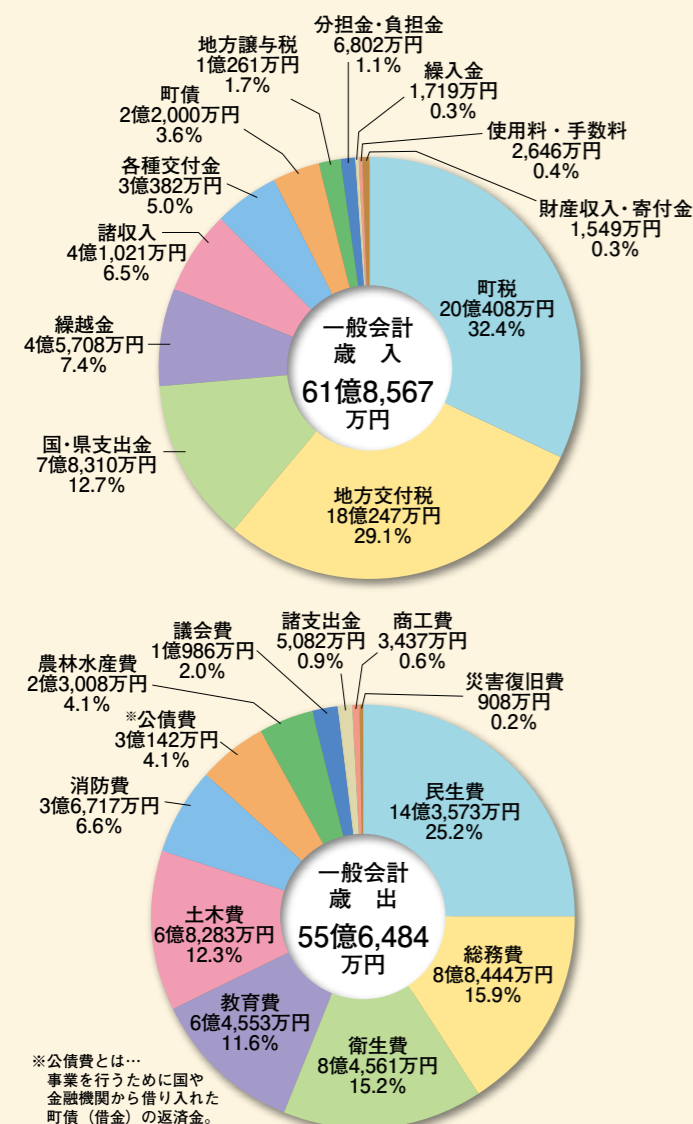


■平成23年度一般会計歳入歳出の構成



■平成23年度各会計決算  
【歳入歳出決算額】

種別	決算額	
	収入	支出
一般会計	61億8,567万円	55億6,484万円
特別会計	学校給食センター事業	1億8,937万円 / 1億8,830万円
	国民健康保険事業	22億244万円 / 20億5,469万円
	農業集落排水事業	1億3,212万円 / 1億2,614万円
	介護保険事業	11億4,575万円 / 10億9,088万円
	後期高齢者医療	1億3,395万円 / 1億3,368万円
国保多古中央病院事業会計	収益	20億682万円 / 18億6,220万円
	資本	1億9,667万円 / 3億911万円
水道事業会計	収益	2億8,594万円 / 3億2,230万円
	資本	3,363万円 / 1億8,284万円

(収益の収入・支出は税抜き)

(千円以下切り捨て)

9月定例会

平成23年度決算を認定!

8会計総額118億円を支出

多古高のCS指定等に4議員が一般質問

9月定例会で町提出の24年度一般会計ほか5特別会計補正予算、23年度各会計決算、監査委員及び固定資産評価審査委員の選任同意にかかる人事案件の計22議案を審議し、原案のとおり可決、認定、同意しました。また、陳情4件について審議し、全て不採択としました。その他、議員発議により1決議を提出し、原案どおり可決しました。

平成24年第3回定例会を9月11日から21日まで、11日間の会期で開催しました。

本会議初日と2日目は、平成23年度一般会計決算を含む議案22件について、町長から提案理由の説明がありました。主要な質疑の後、各委員会へ付託を行いました。平成23年度決算は、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行うこととしました。

9月12日、13日に行われた一般質問は、5名の議員が登壇し、本年4月からコミュニティ・スクール(CS)の指定を受けた県立多古高校に關

する内容等について、4議員が質問し、活発な質疑が展開されました。

14日から20日まで、各常任委員会や特別委員会を開催し、付託された議案や陳情について、具体的・専門的に審査を行いました。

特に、19日に行われた決算審査特別委員会では、平成23年度決算について詳細な質疑がありました。委員からは、町の財政状況の確認や今後の町の見通しなどの質問が多く、長引く景気低迷による厳しい財政運営の中で、長期的な対応が求められました。予算執行の実績である決算につ

多古郵便局前の町道拡幅工事に伴う補償費等を補正

21日最終日は、会期中に開催された各委員会の委員長報告、討論、採決を行いました。町長提出の6600万円余の増額補正となった平成24年度一般会計補正予算案は、富士正食品(株)(本社・銚子市)への町有地売却収入2600万円余、多古郵便局前町道拡幅工事に伴う設備移

転補償費1000万円余などのほか、他の特別会計と同様に4月の人事異動に伴う人件費の調整が主なものでした。平成24年度一般会計補正予算ほか22議案は、すべて原案どおり可決、認定されました。(審議結果は9・10頁に掲載)

圏央道の早期着工等に関する決議を全会一致で議決

監査委員の任期満了に伴う選任について、石井幸夫氏(66歳・島・4期目)とすることに同意しました。また、固定資産評価審査委員の任期満了に伴う選任について、片岡秀行氏(68歳・染井・3期目)とすることに同意しました。その他、陳情4件(平成23年からの継続審査分1件含

む)について審議し、不採択としました。また、土井秀敏議員ほか4名より「圏央道の早期着工等に関する決議」が提出され、全会一致で議決しました。この決議については、11月7日に国土交通省千葉国道事務所へ提出しました。



東保育所4・5歳児「そう・きりん組」